

ロッド記号のA,B,Cって なに？

ロッドの径を表している記号の A, B, C はチューブ内径とロッド径の組み合わせによる下表の列を表しています。
Aロッドは、内径の受圧面積がAロッドの面積を引いたものと、Aロッドの面積が概ね 1:1 になるようになっています。

〈例〉	内径 63	受圧面積 31.1 – ロッド径面積 15.9 = 15.2 (単位 : cm ²)
	内径100	受圧面積 78.5 – ロッド径面積 39.6 = 38.9 (単位 : cm ²)

他のB, Cロッドも、内径との比率で決定されています。

下表のように優先順位1ではAが一番太く、アルファベットの順に細くなります。

優先順位2は、今は殆ど利用されることがありません。また1位のDも使われることがありません。

ロッドの太いものを利用する場合は、通常長ストロークで座屈を考慮する場合か、引きの油量を少なくし戻しの時間を短縮する場合などですが、選定される場合は、ストローク長さ、取付形式、負荷の大きさを充分考慮して選定ください。

■チューブ内径およびロッド径の基本寸法

(単位 : mm)

チューブ内径 ロッド径の記号	選択順位 1				選択順位 2		
	A	B	C	D	X	Y	Z
φ 32 (φ31.5)	22 (22.4)	18	14	10 (11.2)	20	16	12 (12.5)
φ 40	28	22 (22.4)	18	14	25	20	16
φ 50	36 (35.5)	28	22 (22.4)	18	32 (31.5)	25	20
φ 63	45	36 (35.5)	28	22 (22.4)	40	32 (31.5)	25
φ 80	56	45	36 (35.5)	28	50	40	32 (31.5)
φ100	70 (71)	56	45	36 (35.5)	63	50	40
φ125	90	70 (71)	56	45	80	63	50
φ140	100	80	63	50	90	70 (71)	56
φ160	110 (112)	90	70 (71)	56	100	80	63
φ180	125	100	80	63	110 (112)	90	70 (71)
φ200	140	110 (112)	90	70 (71)	125	100	80
φ220 (φ224)	160	125	100	80	140	110 (112)	90
φ250	180	140	110 (112)	90	160	125	100

※表中の () 内の数値は、なるべく使用しないでください。

旧 JIS B8354より